

副市長定数条例を改正 副市長二人制に

重要施策である新市民病院や市本庁舎の建設などを適切に処理し、着実な成果を得、市政の安定と一層質の高い住民サービスを実現するため、副市長を二人制とする条例改正がありました。

主な質疑

問 副市長の1人当たり年間の人件費は。
人事秘書課長 給料、地域手当、期末手当、退職手当組合の負担金、共済費の合計で約1690万円となる。

問 近隣の市で副市長を二人置いているところは。
企画財政部長 県内では11市ある。近隣では、津島市、小牧市、春日井市が二人制をとっている。

問 定員適正化計画で一般職を減らしながら、副市長を増やすのは逆行していないか。

企画財政部長 一般職と市長、副市長という特別職は別枠で考えている。適正化計画は、今後も同じ条件で進めていきたい。

問 一宮市も新庁舎を建設している。予算規模があまりの4倍にもかかわらず、副市長は一人である。一宮市との違いは。
市長 27年度開院目標の新病院建設や病院の経営形態の改善などをスピードを上げて行っていくた

めにも副市長二人体制をとりたい。

問 二人の副市長の職務分担は。

市長 議決後に調整する。

問 プロジェクトチームではないのか。

市長 私も体が一つであり、動ける範囲が決まっている。私の代理として副市長二人体制が必要であると判断した。

問 民間からの人材活用は検討したのか。

市長 自分の中で一度は考えた。民間の副市長は一つの分野に特化したものになる。行政を経験した職員のほうが多岐にわたった判断ができると思う。

討論(要旨)

【反対討論】

野中幸夫 合併後の特別職は市長、副市長、教育長の3人になるという、3町が合併する際に確認された事項に背くものである。

平成25年度一般会計の予算では、職員の時間外手当が1億円を超えている。定員適正化計画では、

平成27年度までに、25人削減するとしている。職員を減らし、残業ありきで仕事をするとすれば、職場が疲弊してしまう。

職員の仕事への意欲を引き出す上からも、副市長を増やすのではなく、住民サービスを向上させるためにも職員の増員こそ求められている。

財政規模があま市のおよそ4倍の一宮市でも、あま市と同じように庁舎建設が議論されている。

ここでは副市長は1人である。あま市で副市長を2人にする理由として、庁舎の建設や市民病院の建設などと言われているが、これらは、当初からわかっていった事である。こうしたことから、副市長を2人にする理由は全く見当たらない。

【賛成討論】

石田良雄 副市長を2人にする目的は、市民病院新庁舎の建設などに向けて今まで以上にスピーディーに対処するためである。副市長を2人にしなければ、職員の労働、精神的な負担が増え、その結果、住民サービスに支障が出ると考える。そのため、行政全般に詳しい副市長が必要だと考える。

今後のあま市の発展のためには、安定的な税収の増加への仕掛けが必要である。関係各所への働きかけなどの発展的な仕事を精力的かつ継続的に行っていくためにも副市長2人制が必要不可欠である。

採決結果

賛成多数により、原案どおり可決。